

めざす子ども像 「命や人を大切にし、自らの力で夢に向かってすすめる子ども」

「富雄に誇りを持ち、感謝の気持ちから

自分たちにできることを実行できる子ども」

取組目標 幼稚園から中学校までの11年間を一貫して見守る体制を目指し、地域、保護者、学校園がより一層の連携をはかり、豊かな体験へとつなげる。

今年度の取組紹介

今年度のテーマであった「図書活動支援」では富雄北小学校へ学校支援として来られている奈良市立西部図書館の司書の方にご協力いただき、講習会を開催しました。

幼稚園から中学校まで全ての学校支援ボランティア、コーディネーターに呼びかけ、学校図書館をワクワクする場所に、子どもたちが多くの本と出合えるように、研修しました。

多くの刺激を受け、今後も学校園、図書館と連携を取りつつ活動を充実させていきたいと思います。

今年度より地域全体の取組みとして開催している『漢検』では、広報の段階から自治連合会、公民館、地域の事業所に協力をいただき、小学1年生から70歳代の方までが中学校に集いました。

兄弟、親子、お孫さんと一緒に、年齢を問わず学ぶツールとして、又学びを介しての地域のつながりを期待して、今後も取り組んでいきたいと思います。



今年度のまとめ

昨年度から取り組んでいた『漢検』を地域全体の取組みとしたことにより、その必要性、効果を協議会において議論するきっかけとなり、学校を学びの場として地域の幅広い年代の方に活用していただくことができました。

来年度に向けて

今年度の取組みをより充実させるためにも、公民館、図書館、博物館との連携に力を入れ、子どもと大人が共に学ぶ「防災教育」「歴史学習」において協力を求めていきたいと考えています。

またコミュニティースクールの指定に伴い、協議会としての役割を明確にし、地域と教職員が共に熟議する場を設けたいと思います。

めざす子ども像

命や人を大切にし、自らの力で夢に向かって進める子ども
富雄に誇りを持ち、感謝の気持ちから自分たちにできることを実行
できる子ども

取組目標

地域の大人から学び、その知恵を生かし自分らしさを発揮する

今年度の取組紹介

学校と地域がより深く連携していくために、地域 CD の方々と教職員や関係生徒達で学校の目指す取組みの話し合いを行い、具体的な活動と支援をお願いしました。中でも学校前の環境整備では、植え付けのアドバイスをいただきながら作る花壇は、今や地域に広く浸透した取組みで「花咲ロード」として親しまれています。また、オリジナルの団子製作に係る古代米の栽培など、子ども達にとって貴重な体験をさせていただきました。さらにキャリア教育の分野では、地域のみならず数多くの職場体験に関わる連携や講師招聘に係る支援をいただくことでスムーズな取り組みもできました。年間を通して行っている放課後学習支援事業に於いても、生徒達は、有意義な活動の一つとして取り組んでおり、学校との連携事業として大変充実した活動で教職員・保護者の多くが学校支援事業の理解につながっているところです。



今年度のまとめ

地域の方たちと一緒に環境整備や多くの地域支援活動を行うことが多く、参加する子どもたちのボランティアに対する心構えに前向きな変化が見られ、校内の美化活動にも生かされています。地域の大人から学ぶことの大切さが理解され、自分たちができることの一つに地元の清掃活動を計画することなど、地域に出向き大人と関わることでつながりを活性させ、その中で果たすべき自分たちの役割と責任を理解してくれているようです。

来年度に向けて

地域のつながりをさらに深めていくために防災教育推進事業に力を入れていくことが課題であると考えます。今年度は、新たなかまどベンチを増設しました。炊き出しの訓練も行いましたが、それらの活動を充実させるためにも被災時の行動を学び、中学生に何ができるのかということと一緒に考える取り組みを行いたいと思います。

めざす子ども像

○命や人を大切にし、自らの力で夢に向かってすすめる子ども○富雄に誇りを持ち、感謝の気持ちから自分たちにできることを実行する子ども

取組目標

○地域の人材や保護者ボランティアを活用した体験型学習の充実○学んだことや取り組んだことを地域や保護者ボランティアに伝える機会をもつ。

今年度の取組紹介

・富雄地区自主防災防犯協議会（自主防協）の協力を得て、5年生は「防災学習」に取り組みました。＜身近で起こりえる災害について意識を高め、自分たちにできる防災・減災について考える＞をめあてに、学習を始めました。最初に、震災による災害の映像と語り部の先生のお話を聞き、実際の災害時にどんな事態になるのかを学習しました。次に、自分たちのこととして捉えるため、「私たちが住む町、富雄は防災に対してどんな備えをしているのか。」をテーマに取組をすすめました。自主防協所属の2名の防災士さんに来校してもらい、〈地震はおきるー地域の防災活動の取り組み〉として富雄地区での具体的な取り組みや、〈自分の命は自分で守る一家での備えともしもの時〉として家庭でできる減災として取り組んで欲しいことなどのお話を聞き、学習をしました。日を改め、自主防協より21名の指導協力のもと、1クラスずつ体験学習を行いました。内容は、「毛布担架」「水消火器」「かまどベンチ」「簡易トイレと処理」「防災倉庫の備蓄品」です。実際に災害が起こった時、自分たちでできること、準備しておかないといけないことなど、とても分かりやすく、具体的に教えていただきました。体験学習後、「私たち自身が防災に関してできることは、何だろうか」を考え、自主防協の方を招待して、「学習発表会」を行いました。自分たちが学んだことをこれからどう生かしていくのか、家庭で実際に準備したものなどを新聞にまとめ、1人1人がプレゼンを行いました。また、運動会では、この防災学習で学んだことをもとに、「未来に備えて－わたしたちにできること－」として、団体競技を行いました。毛布担架をその場で実際に作って、人に見立てた布団を運んだり、災害時に必要なものを紹介したりする競技を行い、自分たちが学んだことを保護者・地域に発信することもできました。学校だけでは、学ぶことができない防災学習をすることができました。



今年度のまとめ

今年度も教員とコーディネータでパートナー会議を事前・事後、年度末に行い、有意義な取組を行うことができました。昨年度より「教員の役割」「地域の役割」を意識して話し合うことで、「めざす子ども像」によりせまる活動ができたと思います。

来年度に向けて

「めざす子ども像」の実現に向けて、これまでのカリキュラムを生かして、学年の縦のつながりや小中一貫教育、幼小連携も意識した活動内容を計画していきたいと思います。

めざす子ども像

**命や人を大切にし、自らの力で夢に向かって進める子ども
富雄に誇りをもち、感謝の気持ちから自分たちにできるこ
とを実行できる子ども**

取組目標

多様な人との関わりを通して、より良い人間関係を作り、夢をもって自ら学ぼうとする児童を育成する。

今年度の取組紹介

○学習支援ボランティア

- ・家庭科・図工科の学習補助（4年～6年）

たくさんの地域の方に来ていただき、学習補助をしていただき、作業をスムーズに進めることができました。

- ・ならまち探検（3年）

社会科の学習で古都ならの町並みをグループに分かれて、散策しました。地域の方には、各グループに付き添っていただいて安全に活動することができました。

- ・ゲストティーチャー（1年～6年）

ゲストティーチャーに来ていただいて、命に関する学習をしたり、国の文化に触れたり、様々な体験活動を行いました。



今年度のまとめ

今年度も地域コーディネーターの方が窓口となり、地域ボランティアの方に多数来校していただき、花植え・木々剪定・伐採などの環境整備や図書ボランティアによる図書の本の整理・修繕、家庭科・図工科の授業補助などに協力していただきました。ボランティアの方やゲストティーチャーとの出会いを通して、人と出会う喜びや自分を表現する喜びなど様々なことを感じることができました。そして、鳥見地区にたくさんの素晴らしい方がおられることに喜びを感じ、地域を愛し、地域に誇りを持つことができています。

来年度に向けて

来年度も今年度同様、体験学習事業、環境整備事業、学習ボランティア事業、子ども安全見守り事業の4つの事業を中心に取組を展開していきます。今年度と同様にゲストティーチャーを招聘したり、ボランティアの方に来校していただいたり、児童がたくさんの方と出会える1年になるように進めていきます。また来年度は、2年に1度の文化鑑賞会を実施し、児童が心豊かに成長していけるよう取り組みます。地域にあるたくさんの人材を学校に集め、児童が人と出会う喜びを感じ、改めて、地域の良さを感じることができるように進めていきます。

めざす子ども像

- ・ 命や人を大切にし、自らの力で夢に向かってすすめる子ども
- ・ 富雄に誇りをもち、感謝の気持ちから自分たちにできることを実現できる子ども

取組目標

- ・ 子どもたちが地域やいろいろな人にかかわり、人とのつながりをもてるような活動や遊びを通して充実感を得ることができる取組の充実

今年度の取組紹介

「剣道教室」～地域のゲストティーチャーによる剣道を通して～

今年度も引き続きゲストティーチャーに来ていただき、年3回計画、実施しました。4歳児は初めての経験で、竹刀の振り方が分からなかったり恥ずかしがったりしていましたが、丁寧な指導のもと回を重ねる毎に、自信をもって大きな声で掛け声や挨拶をしたり、思いきり竹刀を振ったりし、意欲的に取り組む姿が見られるようになりました。



5歳児は2年目ということで自分から挨拶をしたり、ゲストティーチャーの話をしっかりと聞いたりしていました。1年、あるいは2年を通して背筋を伸ばして正座もできるようになり、礼節を知る機会となりました。

「リズム遊び」～地域のゲストティーチャーによるリズム遊びを通して～

今年度は、年3回のリズム遊びに加え、ファミリー参観で親子リズム遊びを実施しました。たくさんさんの保護者が参加し、親子でバルーンや触れ合い遊びなどをしました。小学校の広い体育館で思い切り体を動かし、心も体も健康になる体験となりました。その後、保護者からは「普段一緒に踊る機会がないので、楽しかったです」「子どももとても喜んで、家でもダンスをしています」と喜びの声をいただきました。また、「子どもたちの元気いっぱい楽しそうに踊る姿を見て、リズム遊びを楽しみにしている理由がわかりました」「一緒になって体を動かしたり汗をかいたりし、このような経験は大切だと思いました」と、園の取組を理解していただく機会にもなりました。



今年度のまとめ

昨年度より継続して、同じゲストティーチャーに来ていただいたことで、5歳児は特に親しみをもってかかわるようになり、主体的に様々な活動に取り組むことができました。また、4歳児も回を重ねることで温かく見守っていただいているという安心感から意欲的に取り組めるようになりました。ゲストティーチャーも1年あるいは2年の長期的な見通しをもって指導してくださり、地域と園との協力体制で主体的、意欲的に活動する力が身についてきているという実感がもてました。また、地域や保護者の方にクラスだよりや写真掲示で取組を知らせたり、参観する機会をつくったりしたことで、園での取組を理解していただくきっかけとなりました。

来年度に向けて

子どもにとって、貴重な体験になっていることを実感しているので、来年度も同じゲストティーチャーの協力を得て継続した取組を実施していきたいです。今後も地域や保護者と心を通わせながらつながりを深め、園教育への理解と協力を得られるよう積極的な啓発活動に努めたいと思います。

めざす子ども像

**命や人を大切にし、自らの力で夢に向かって進める子ども
富雄に誇りをもち、感謝の気持ちから自分たちにできるこ
とを実行できる子ども**

取組目標

○環境整備や行事を通して、様々な方々との触れ合いを深められるような取組の充実
○幼児の心身の発達を促す直接体験ができるような、保育内容の工夫

今年度の取組紹介

○地域の方との花の植え替え

毎年2～3回地域の方のご協力を得て、園庭の花の植え替えを行っています。回を重ねることで地域の方と子どもたちが顔見知りになり、名前も覚え、園外でも声をかけることも増えてきています。今年度は、保護者の参加も多く、子どもについて手を出してしまう保護者に、地域の方から「見守って待ってあげて。子どもたちが自分でできること多いよ。」と声をかけていただくなど、地域と子ども・保護者をつなぐことができました。「たくさんの方が幼稚園に協力してくださってるんですね。」と保護者からの声も聞かれました。



○触れ合い会

毎年、地域高齢者の集いである「触れ合い会」に参加させていただいています。公民館で、歌を披露したり、高齢者の方々の席に子どもたちが行き、わらべ歌などで触れ合ったりしています。子どもたちの姿に「かわいいね。」「上手だね。」と褒めていただき、子どもたちも嬉しさや自信を味わう経験となっています。後日、幼稚園に高齢者の方を招待しての「触れ合い会」も行いました。感謝の気持ちを表したいと子どもたちは手作り名札を準備し、出迎えや案内を進んで行き、地域の方に来園していただくことを心から楽しみにしています。地域高齢者の方との触れ合いは、子どもたちの心を豊かにする活動の1つとなっています。



今年度のまとめ

日頃から、幼稚園や小学校に協力的な地域であり、地域の方々との触れ合いや交流も多くもつことができました。今年度は、地域の方々が、子どもたちに温かいまなざしで接してくださっていることを保護者にも見ていただき、保護者と地域もつないでいくきっかけづくりができたと思います。また、ゲストティーチャーによる保育活動も充実し、多くの体験を得ることができました。

来年度に向けて

引き続きコーディネーターの方々と連携し、小学校以降の学びにつながる心身を育んで行けるような豊かな体験や、園内の環境づくりに地域の方々の力添えを得ながら取り組んでいきたいと考えています。また、図書活動の充実についても検討していきたいと思っています。